

## 大島町における大気測定について

### 1 調査目的

都市域における大気汚染物質の排出や生成の影響を受けにくい島しょ部において、環境大気中の物質濃度等を測定し大気環境を把握する。

### 2 調査内容

#### ➤ 調査場所

東京都大島支庁舎敷地内（東京都大島町）

#### ➤ 調査期間

夏季：2019年9月 3日～2019年9月30日（R1年度夏季）

2020年8月26日～2020年9月24日（R2年度夏季）

冬季：2020年1月21日～2020年2月20日（R1年度冬季）

2021年2月23日～2021年3月23日（R2年度冬季）

#### ➤ 主な測定項目、使用機器等



出典：電子地形図（国土地理院）を加工し作成

測定項目	使用機器等	備考
二酸化窒素	窒素酸化物自動測定機 (化学発光法)	
非メタン炭化水素 (NMHC)	炭化水素自動測定機 (水素炎イオン化検出器付きガスクロマトグラフ法)	R1 年度夏季 を除く
浮遊粒子状物質	浮遊粒子状物質自動測定機 ( $\beta$ 線吸収法)	
微小粒子状物質	微小粒子状物質自動測定機 ( $\beta$ 線吸収法)	
光化学オキシダント	オキシダント自動測定機 (紫外線吸収法)	
一酸化窒素	窒素酸化物自動測定機 (化学発光法)	

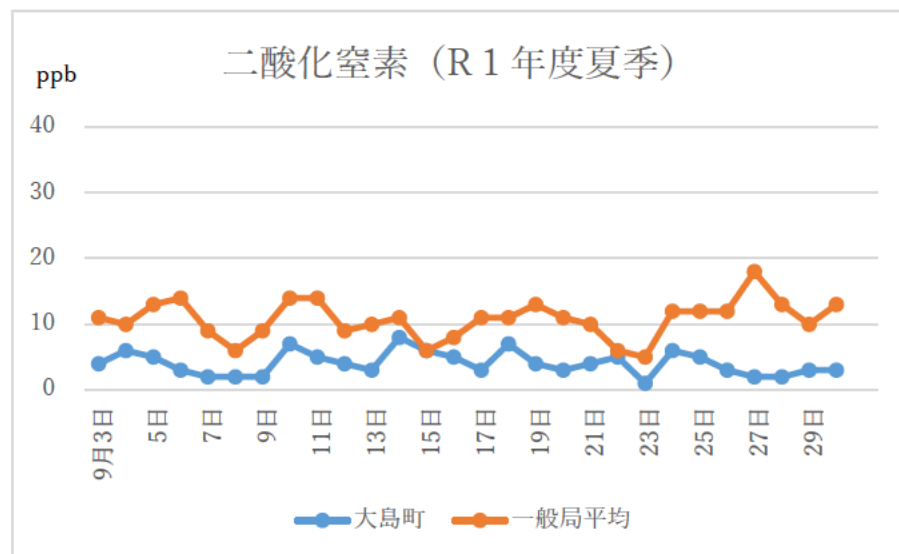
### 3 調査結果

#### ➤ 別紙のとおり

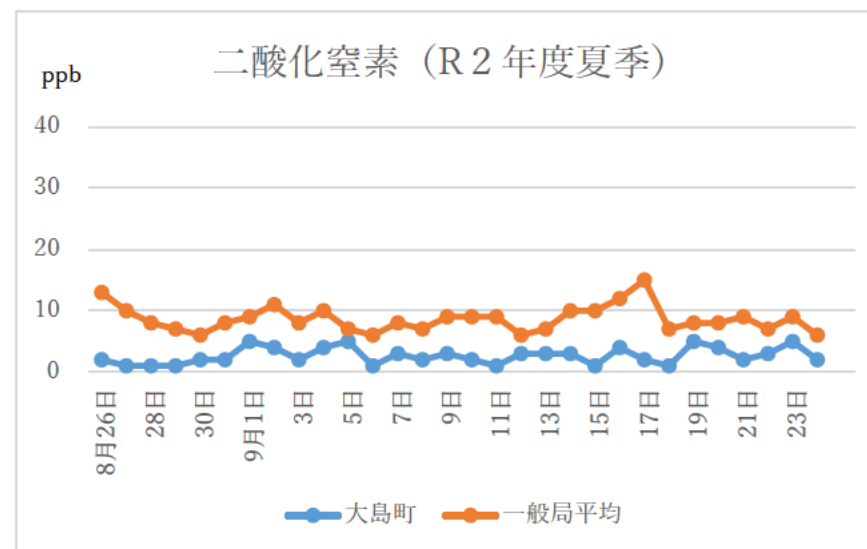
## 大島町における大気測定結果

(大島町の測定結果と一般局平均値との比較)

### 二酸化窒素 (夏季)



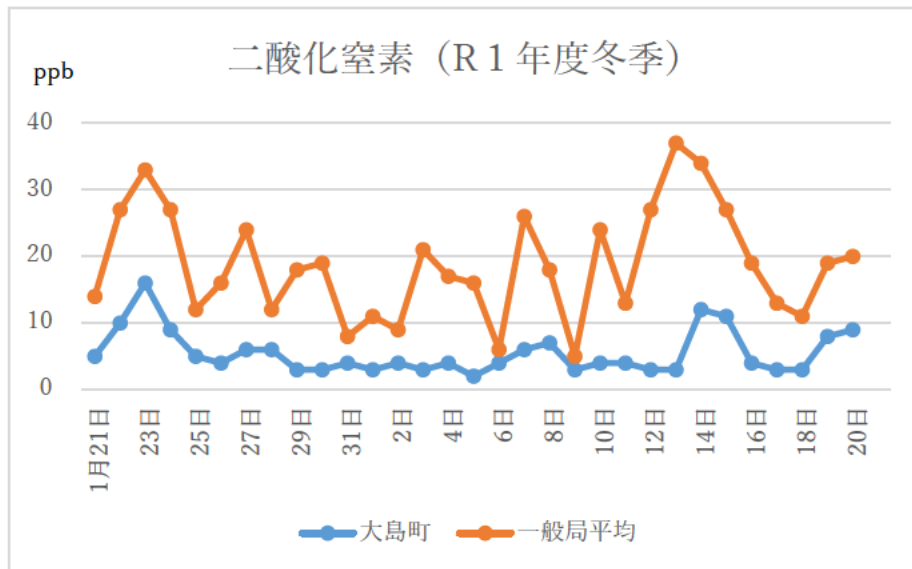
測定期間平均 大島町 4ppb 一般局平均 11ppb



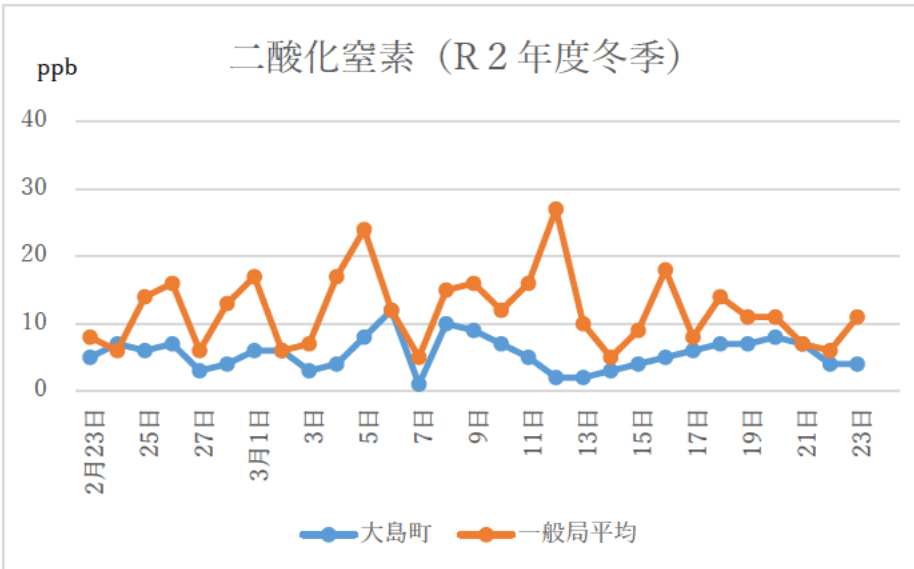
測定期間平均 大島町 3ppb 一般局平均 9ppb

○いずれの測定期間においても、大島町の方が一般局平均に比べ明確に低い傾向が見られた。

## 二酸化窒素（冬季）



測定期間平均 大島町 6ppb 一般局平均 19ppb

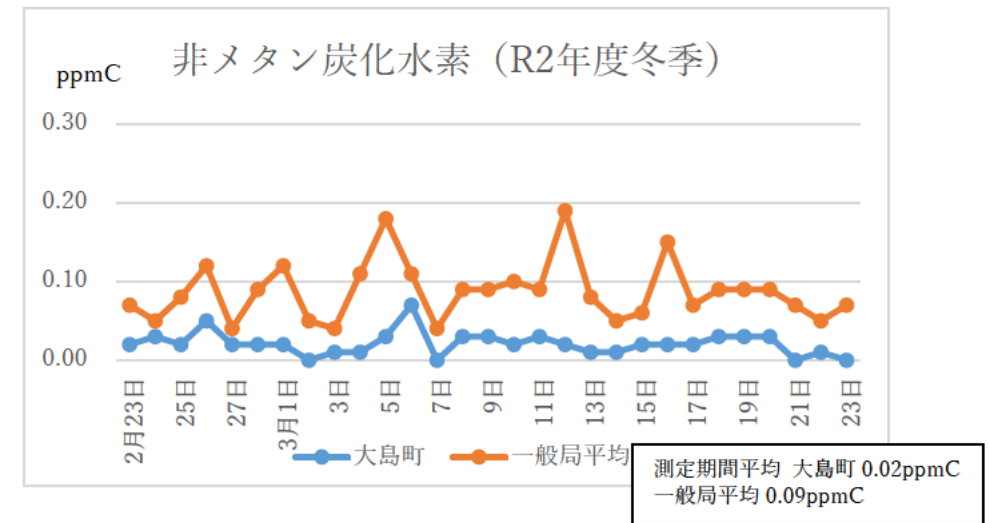
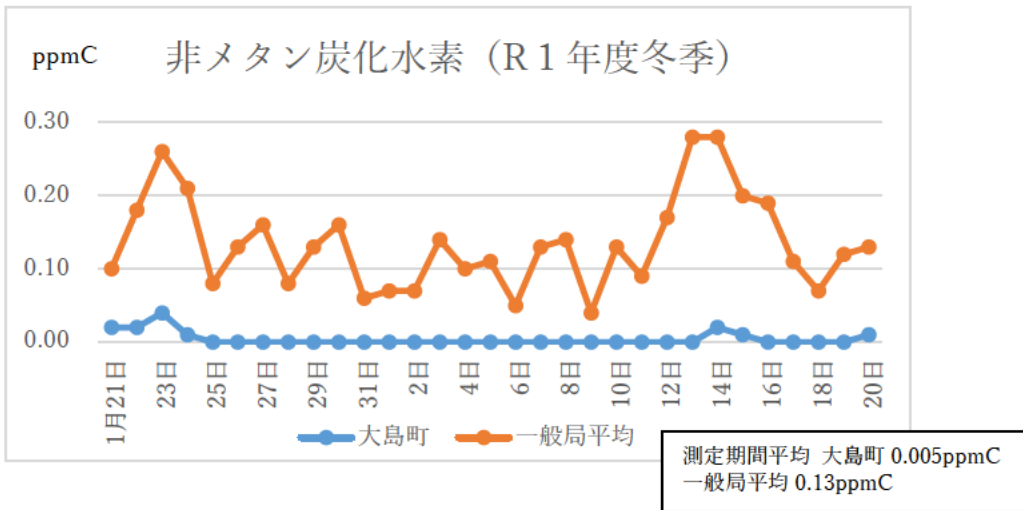
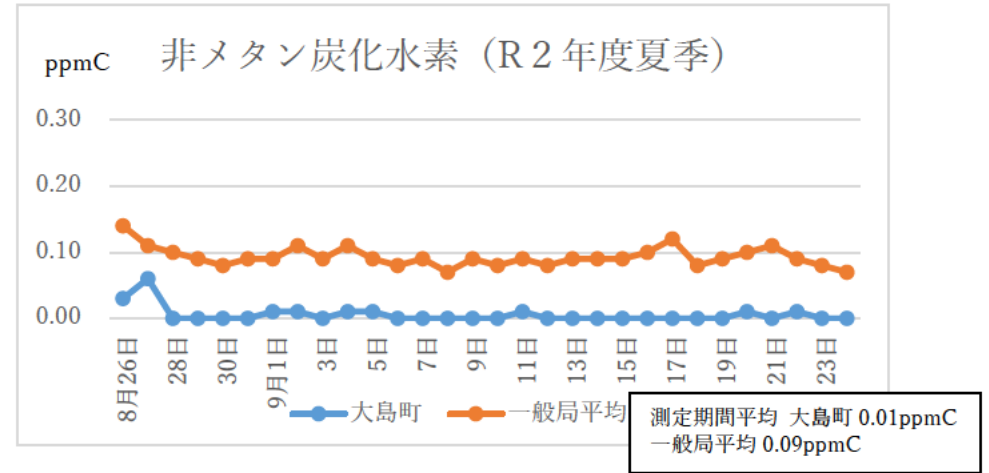


測定期間平均 大島町 6ppb 一般局平均 12ppb

○いずれの測定期間においても、大島町の方が一般局平均に比べ明確に低い傾向が見られた。

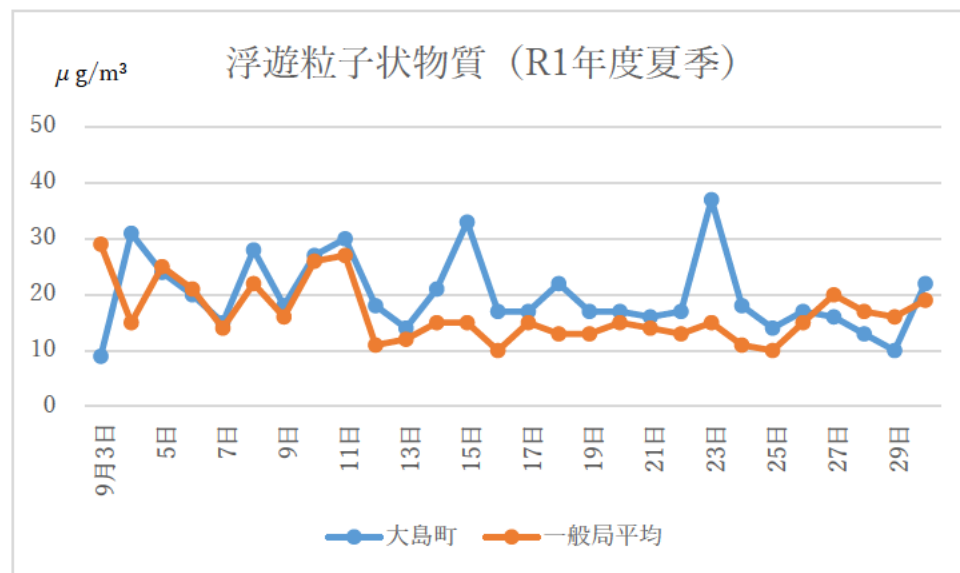
# 非メタン炭化水素

未測定 (R1年度夏季)

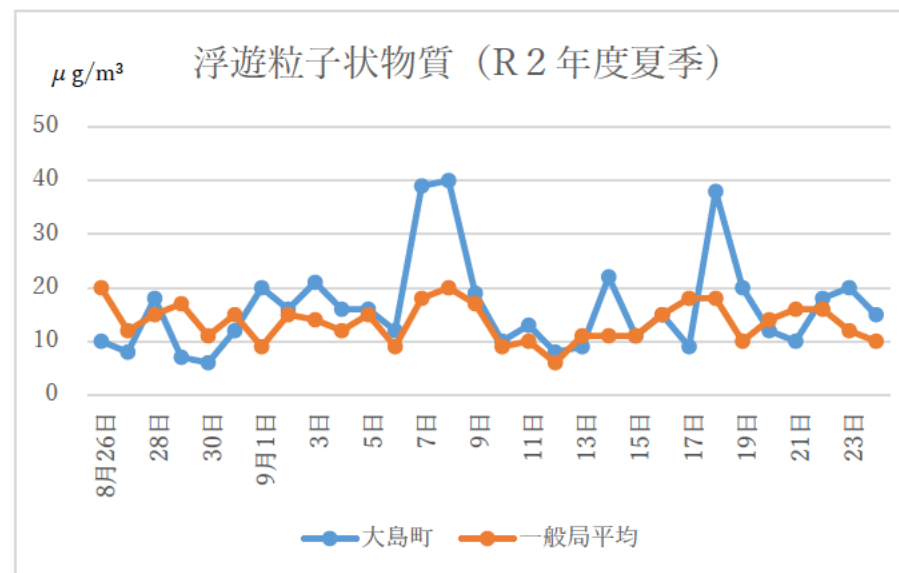


○いずれの測定期間においても、大島町の方が一般局平均に比べ明確に低い傾向が見られた。

## 浮遊粒子状物質（夏季）



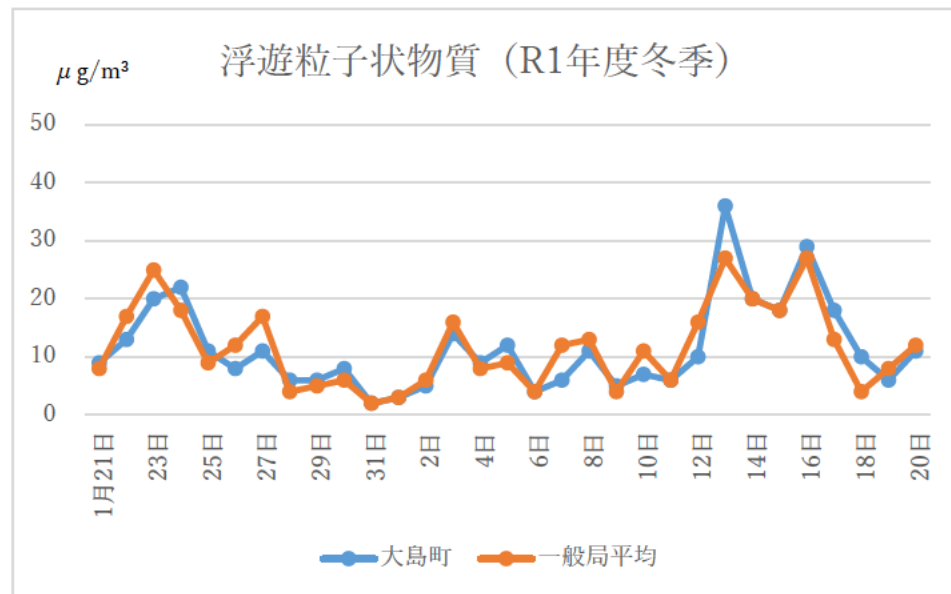
測定期間平均 大島町 20 μg/m³ 一般局平均 17 μg/m³



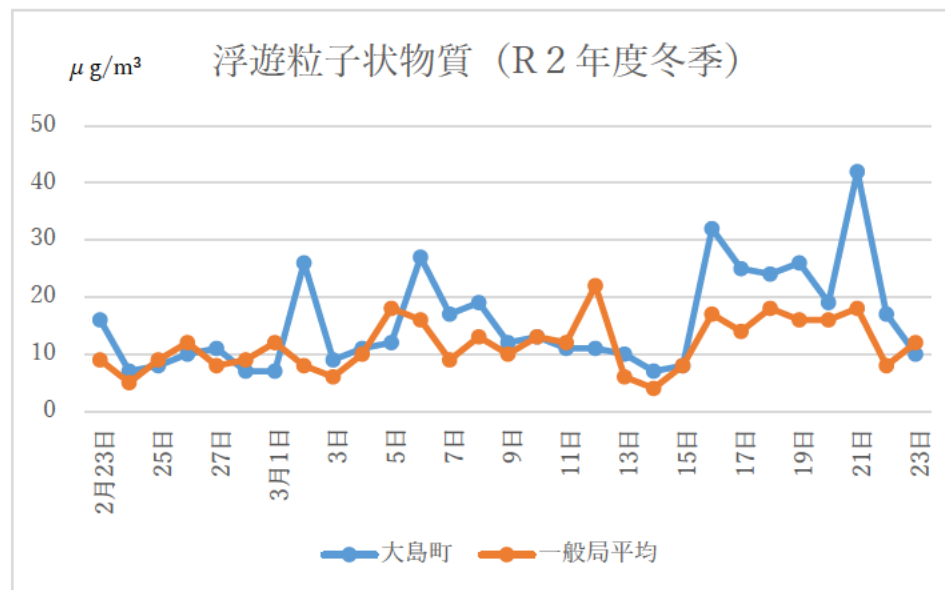
測定期間平均 大島町 16 μg/m³ 一般局平均 14 μg/m³

- R1年度夏季の一部期間（9月14日～25日）において、大島町が一般局平均に比べ高い傾向が見られた。
- R2年度夏季は類似の傾向を示しており、一部期間（9月7～8日、18日）で大島町の方が濃度が高い。

## 浮遊粒子状物質（冬季）



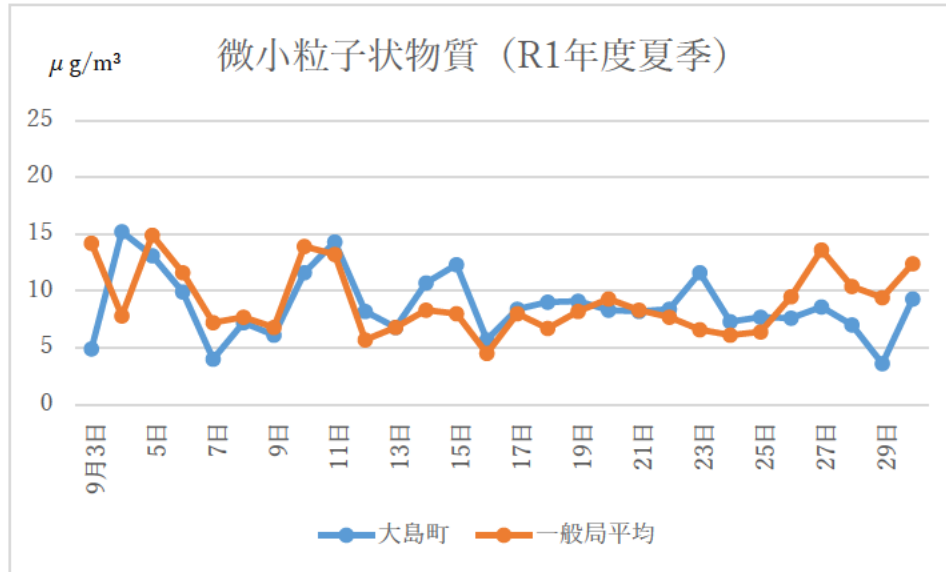
測定期間平均 大島町 11 μg/m<sup>3</sup> 一般局平均 12 μg/m<sup>3</sup>



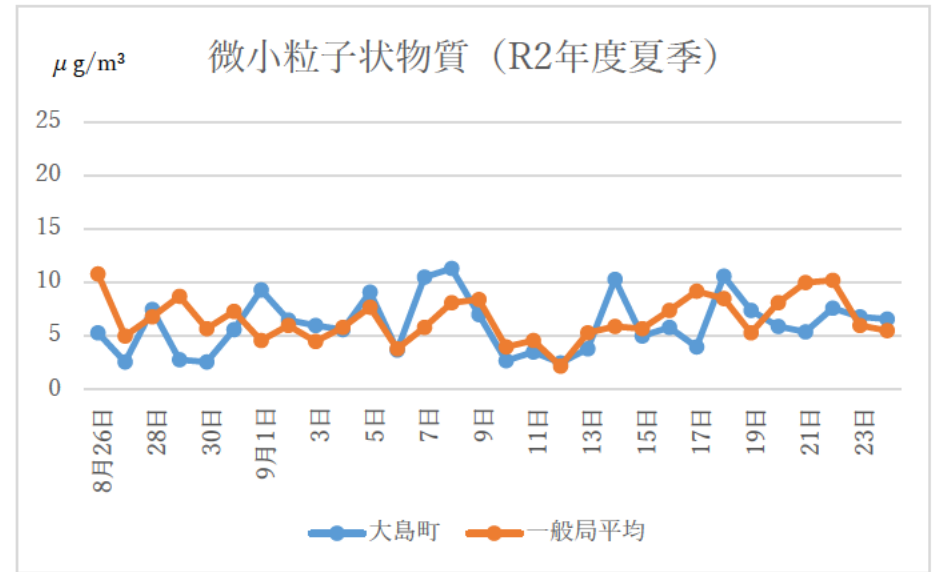
測定期間平均 大島町 16 μg/m<sup>3</sup> 一般局平均 12 μg/m<sup>3</sup>

- R1年度冬季は全体的に類似の傾向が見られた。
- R2年度冬季は、一部期間（3月16日～22日）において、大島町の方が一般局平均に比べ高い傾向が見られた。

## 微小粒子状物質（夏季）



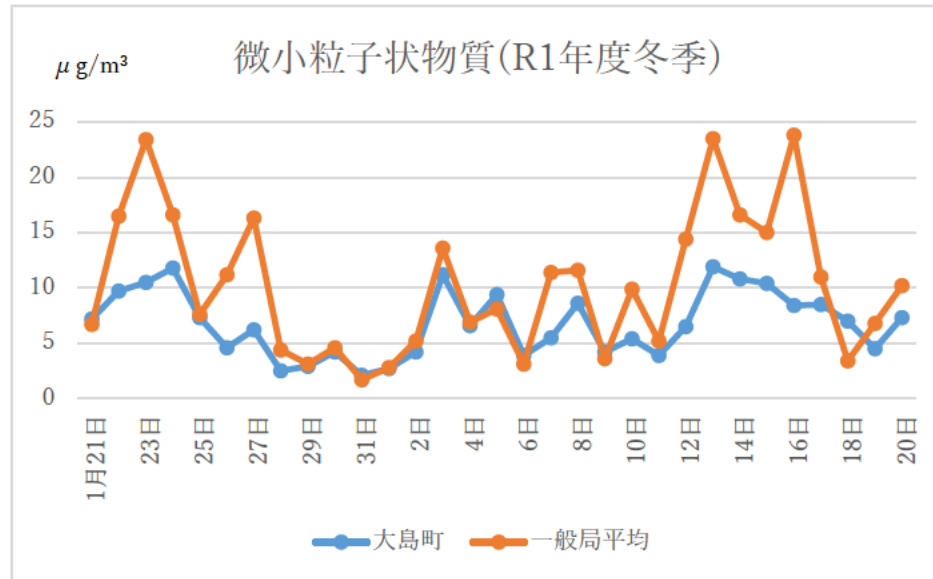
測定期間平均 大島町 9 μg/m³ 一般局平均 9 μg/m³



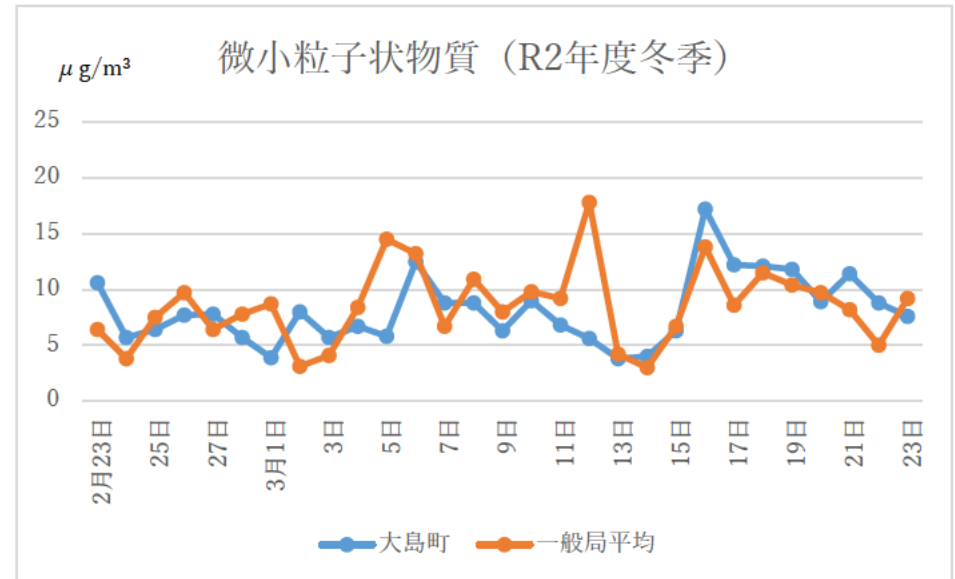
測定期間平均 大島町 6 μg/m³ 一般局平均 7 μg/m³

○全体として大きな差異は見られなかった。

## 微小粒子状物質（冬季）



測定期間平均 大島町  $7 \mu\text{g}/\text{m}^3$  一般局平均  $10 \mu\text{g}/\text{m}^3$

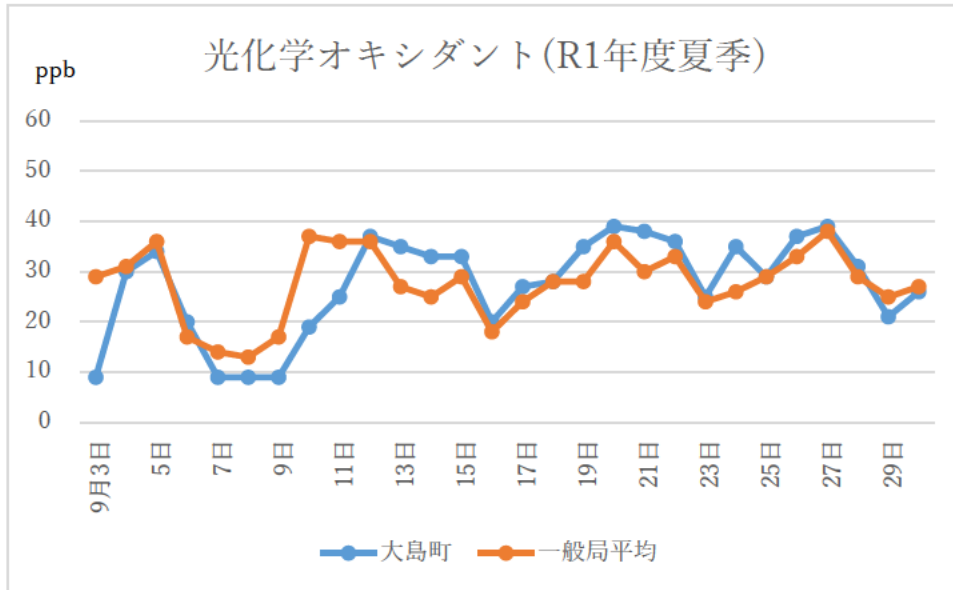


測定期間平均 大島町  $8 \mu\text{g}/\text{m}^3$  一般局平均  $8 \mu\text{g}/\text{m}^3$

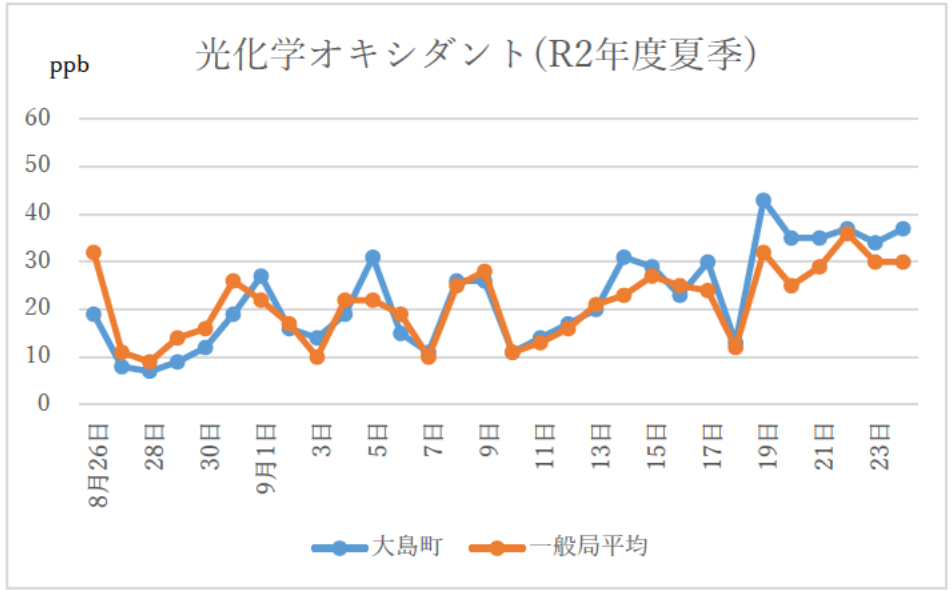
○R1年度冬季は、全体として一般局平均の方が大島町より高い傾向が見られた。  
 ○R2年度冬季は、全体的に類似の傾向が見られた。



# 光化学オキシダント（夏季）



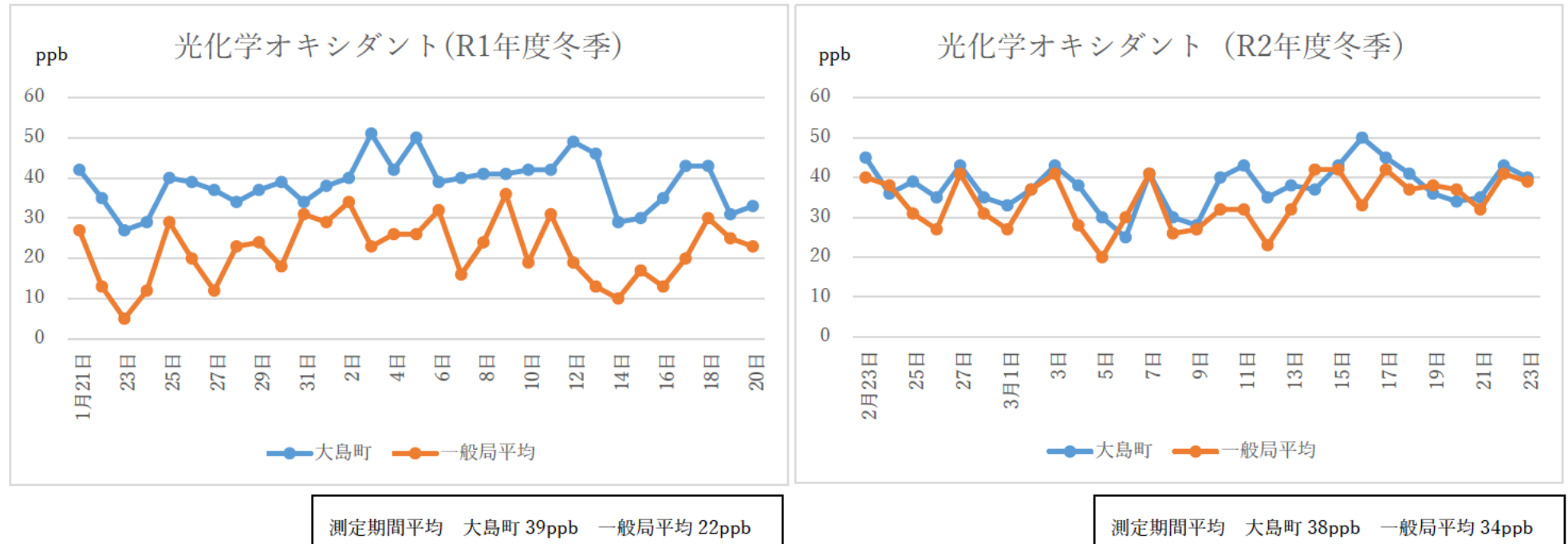
測定期間平均 大島町 27ppb 一般局平均 28ppb



測定期間平均 大島町 22ppb 一般局平均 21ppb

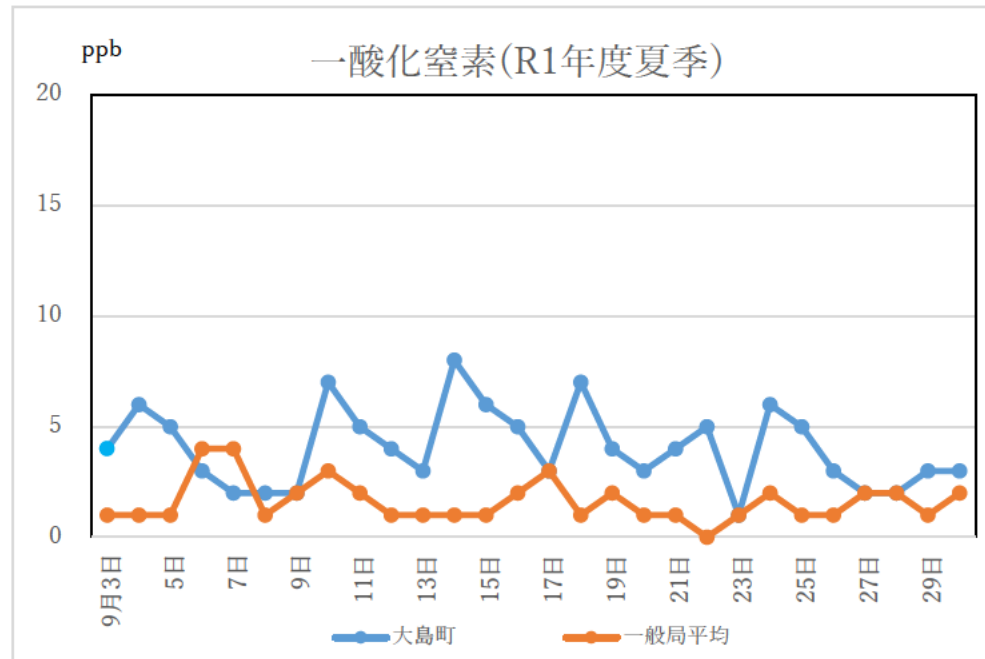
○全体的に大島町と一般局平均で類似した傾向が見られた。

## 光化学オキシダント（冬季）

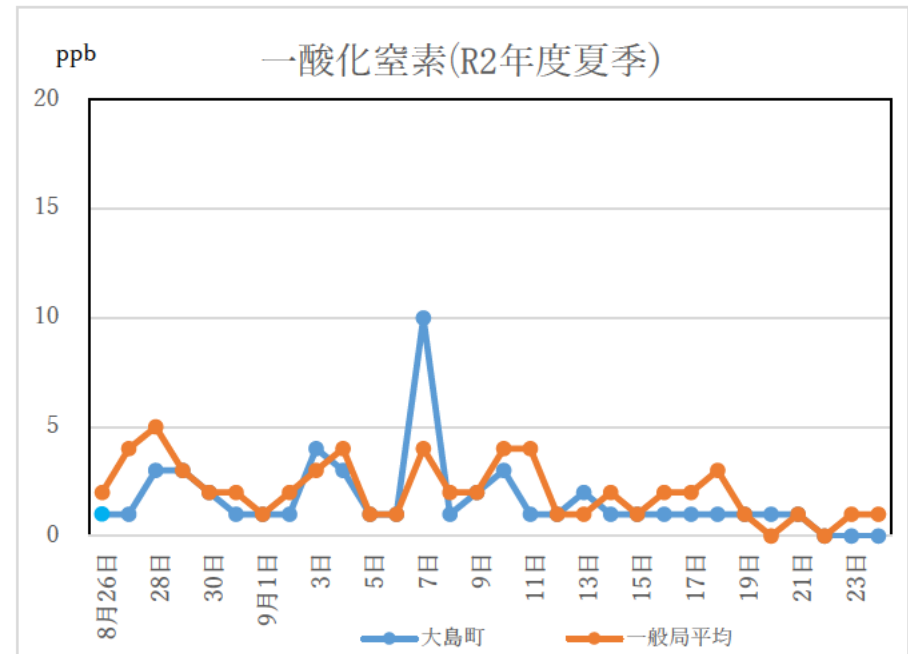


- R1年度冬季において、大島町の方が一般局平均に比べ明確に高い傾向が見られた。
- R2年度冬季においては、R1冬季に比べ両者の差は小さくなっているが、大島町の方がやや高い傾向が見られた。

## 一酸化窒素（夏季）



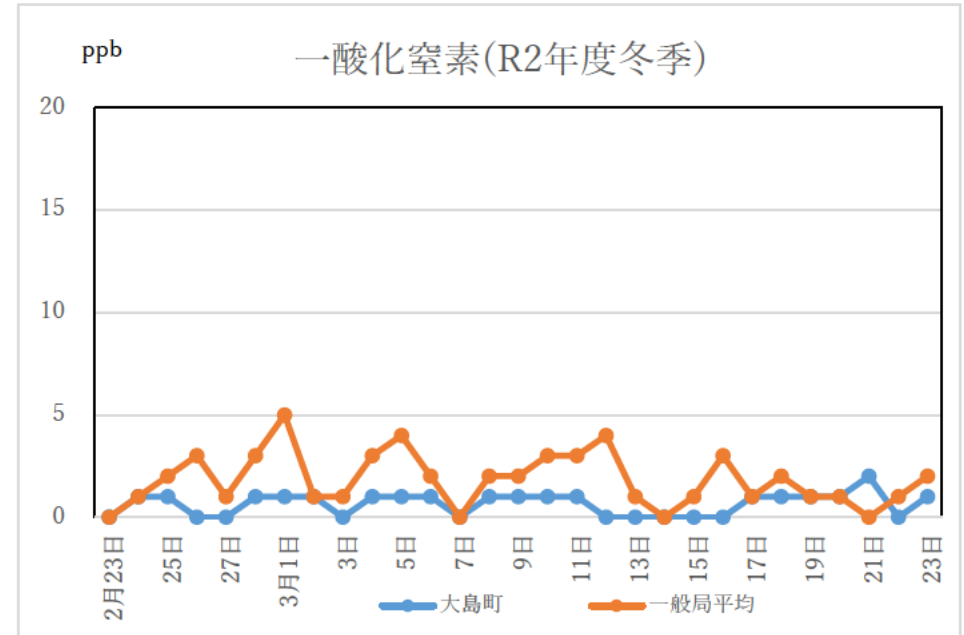
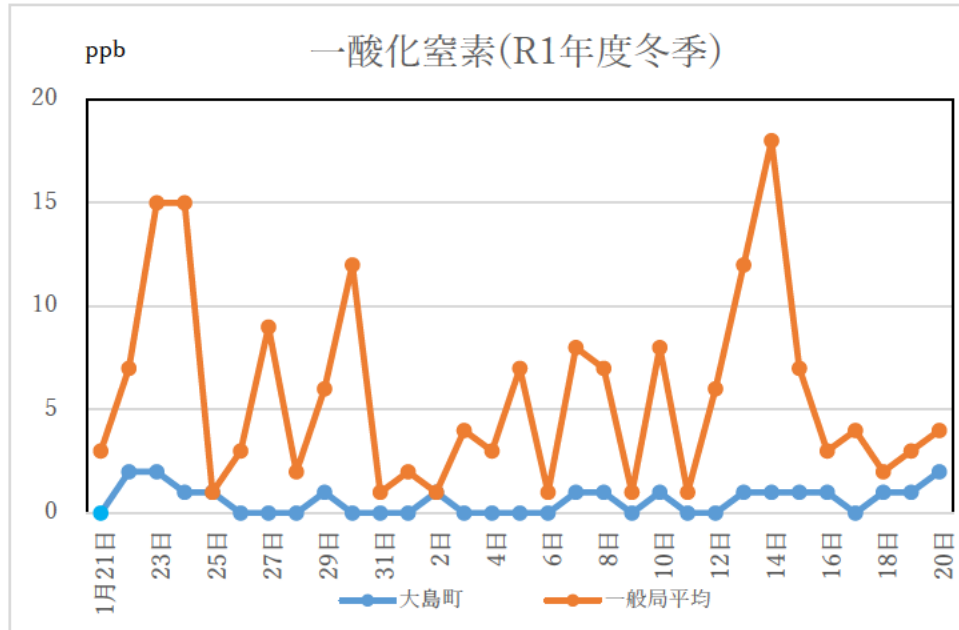
測定期間平均 大島町 4ppb 一般局平均 2ppb



測定期間平均 大島町 2ppb 一般局平均 2ppb

○R1年度夏季において、大島町の方が一般局平均に比べ高い傾向が見られた。  
 ○R2年度夏季においては、全体的に大島町と一般局平均で類似した傾向が見られた。

## 一酸化窒素（冬季）



- R1年度冬季において、一般局平均が大島町に比べ明確に高い傾向が見られた。
- R2年度冬季においては、R1年度冬季に比べ両者の差は小さくなっているが、一般局平均の方がやや高い傾向が見られた。